



うさぎとかめの通信 上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 107周年
令和5年6月30日 第183号

HPのQRコード



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本!

☆子供を真ん中に一緒に育てていきましょう☆

幼児期の子供は、遊びを通して、様々なことに挑戦し、自分の思いや考えを伝え友達と一緒にやり遂げる経験を積みながら、その過程の中で様々な気づきや学びをしています。そして、その遊びの中にはたくさんの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が見られます。私たち園の教職員は、子供たちの遊びの中にどのような学びや育ってほしい姿が見られるのか、その場面でどのようにかかわれば、主体的対話的で深い学びになっていくのかを考えながら接しています。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達すべき目標ではありません。一人一人の発達に応じて育まれていくものです。幼児の成長を共有し教育・保育活動に取り組んでいます。その具体的な姿の例を紹介します。

- 健康な心と体：様々な活動に目標をもって挑戦したり、困難なことにつまずいても気持ちを切り替えて乗り越えようとしたりして、主体的に取り組む。
- 自立心：自分の力でやり遂げる体験などを通じて、自信をもって行動する。
- 協同性：友達と一緒に目的の実現に向けて考えたり協力したりする。
- 道徳性・規範意識の芽生え：よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する。
- 社会生活との関わり：家族を大切にしたり、身近な人と触れ合ったりして地域に親しみをもつ。
- 思考力の芽生え：身近な事象から物の性質などを感じ取ったり、予想したりして、多様な関わりを楽しむ。
- 自然との関わり・生命尊重：自然への愛情をもったり、生命の不思議さなどに気付いたりする。動植物を大切にする。
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚：遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しんだりして、興味や関心、感覚をもつ。
- 言葉による伝え合い：経験したことなどを言葉で伝えたり、話を聞いたりして、伝え合いを楽しむ。
- 豊かな感性と表現：心動かす出来事に触れ、感じたことを表現して、表現する喜びを味わい、意欲をもつ。

※幼児期までに育ってほしい姿：幼稚園教育要領から抜粋

☆試行錯誤の連続でした☆

どろんこ遊び最終日、朝降っていた雨が上がり、年中のうめ組の子供たちがどろんこ遊びに園庭に出てきました。砂場にお風呂を作って水を入れたいという願いから遊びが始まりました。

水漏れ問題



砂場の温泉まで流したいな。

土は水に弱いんだよ。だって砂場に水を入れると・・・

隙間に土を入れよう。でもやっぱり漏れるなあ。キャップを挟んでみようか？

すると、いつも水を流して遊んでいた子が、樋の上下をチェンジしました。「水が漏れなくなったよ！」

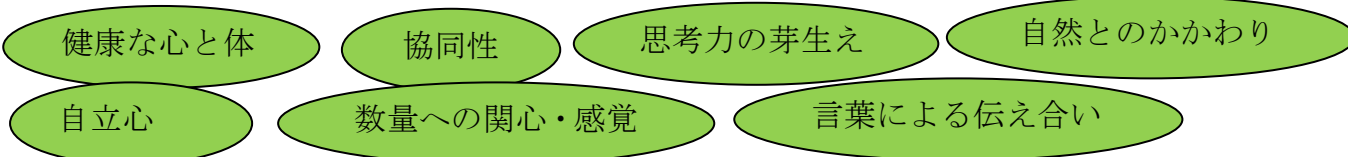


やったあ！水が出てきたよ！

水が戻っちゃう問題

水漏れ問題は解決しましたが、『水が戻ってきちゃう』問題が発生。「途中からなら、流れるなあ。」「2個重なっているバケツと、こっちのバケツを換えっこしよう。」途中のところは、うまく流れるようになってきました。それでも、スタートのところに水が戻ってきてしまいます。そこで… ➡

上の様子は、試行錯誤の中のほんの一部です。何度も何度もやってみて、やっぱりだめだと分かったら、他の子がアイデアを出したり手助けしたりしながら、粘り強く解決していきました。ですから、達成したときの感激はひとしおのようでした。この活動には、次のような姿が見られます。



この時の担任の先生は、すぐに手を差し伸べずに、様子を見てヒントを出したり見守ったりしています。「今がチャンス！〇〇の姿が育つように、～しよう」と、常に子供の様子からどのようにかかわるのかを考えています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、主体的に遊ぶ子供たちの中にいくつも見られます。その姿を援助していくために、大人が先回りしたり結論を急いだりせず、ゆったりと構え、「どうしたの？」「ゆっくりでいいよ」と余裕をもって接し、子供の姿を認めていきます。

ご家庭でも遊びの中からたくさんの学びや成長が見られることと思います。ぜひ、お子さんの姿で共有していきましょう。